

Σ 委員会炉定数グループ (FP chain 作成グループ) 第1回議事録

1. 日 時 昭和42年4月27日 午後1時30～5時
2. 場 所 原電第3会議室
3. 出席者 坂田(原研), 大沢(日立), 永山(原電)以上3名
4. 議 事

FP Chain作成作業計画案の検討

FP に関するアンケートを主に検討の結果下記の作業計画案が作成された。

(a) Chain 追跡用コードの作成とこれに伴う作業内容

- Isotope Chain の検討の結果適当な Chain model を決めて2群で定式化する。
- 取扱い反応は一応 β decay, γ decay, (n, γ) Reaction としこれらに関連する Data を収集する。
- Isotope chain 追跡による Isotope の選択の基準は与えられた照射時間に対し全部の核種を計算し, その期間中 Total Cross Section の 0.1% とする。
- 断面積は1群 (Maxwellian 分布) の値を使用する。
(理由) 取り上げた全核種の RI を求めることが出来ないこと。又
2200m/s の値を使用しても最終的な Grouping に対してそれ程大きな誤差を生じないであろうこと。
対称とする炉型が Thermal Reactor と定められていること等により十分と考えられる。
- これらの作業結果選択された核種について FP cross section 作成グループ (仮称) に依頼する。
- 計算結果は全て Curve plotter により整理する。

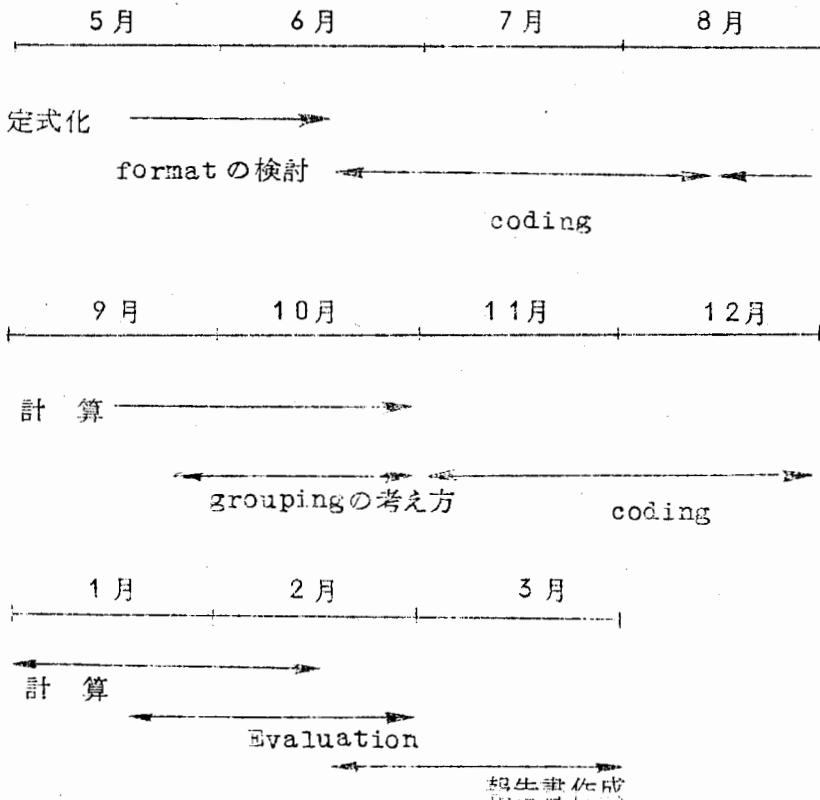
(b) Grouping に関するCode の作成とこれに伴う作業

- 考えられるGroupingの方式として ϕ と t の函数でTable 又は $\bar{\sigma}$, $\bar{\lambda}$ によるfitting 等が考えられるが, これはIsotope chainの追跡結果決定することにする。
- Isotope chain 追跡結果のNumblr Dencitics を使用し, 更にFP cross section作成グループの pointwise cross sectionを利用し最終的なpsuedo fp cross section にまとめる。
- 作成されるData は U^{235} , Pu^{239} , Pu^{241} について行う。

(c) Evaluation: について

- 実験Data とこのgroupingによる結果との比較を行う。
- 適当なepi-thermal factor γ を導入し本作業中の2200m/s の断面積での作成Data の適用限界の検討も出来れば実施する。

(d) Time schedule



・ 予 算 50万円

次回予定 日 時 昭和42年5月16日 1時30～

場 所 原電第1会議室

議 題 ・FP chain の定成化と code 化の問題
・その他

以 上
(文書 永山)